外国語活動学習指導案

指導者　T1　有森　英一
ALT Sophie Taylor

1　日　時　　令和元年 10 月 18 日（金）　第３校時（10：35～11：20）

2　学　年　　第５学年（20 名）

3　単元名　　She can fun fast, He can jump high.　できること　（We Can!1 Unit5）

4　単元について

○　本単元は，小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説外国語活動・外国語編の①「〔知識及び技能（１）英語の特徴やきまりに関する事項〕イ文字及び符号（ア）活字体の大文字，小文字」，②「（３）言語活動及び言語の働きに関する事項〕オ書くこと（イ）相手に伝えるなどの目的をもって，身近で簡単な事柄について，音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動。」の内容である。具体的には，一人称，二人称のみで思いや考えを伝え合ってきた児童が，She,He の第三者を表す三人称を使って自分の身近な家族や友達，先生の話ができるようになることを目指す。また，文字には，名称の他に音があることに気付かせ，それに慣れ親しむことや慣れ親しんだ語句を書き写すなど「書くこと」の領域の学習も始まる単元である。

○　本学級の児童は，１年時から月に２時間程度，年間 20 時間位の英語活動を行っており，外国語に触れる機会が多い。しかし，昨年度（４年生時）は，15 時間，今年度は，50 時間の授業時間数での外国語活動の実施であり，We can!や Let’s Try!の学習したことが十分に定着しているとは言い難い。書くことに関しては，１文字のアルファベットを書いたりジングルでアルファベットに触れたりしている程度である。

No	質問	肯定的回答第１回
1	小学校での英語の勉強は将来役に立つと思います。	95%
2	外国語活動（英語）の授業以外で英語を使ってみたいと思います。	75%
3	もっと英語を学びたいと思います。	90%
4	外国語活動（英語）の授業に進んで参加しています。	95%
5	外国語活動（英語）の授業では，英語を使う場面を考えながら活動しています。	85%
6	外国語活動（英語）の授業では，日本と外国のくらしや習慣，文化などのちがいを知ることができます。	85%
7	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	90%
8	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，だいたいの内容が分かります。	80%
9	英語でやり取りをする時には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事したりしています。	80%
10	英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしています。	65%
11	英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えています。	75%
12	英語の文字（アルファベット）を読むことができます。	35%
13	英語を読む時には，単語や表現の意味を考えながら読んでいます。	70%
14	英語を書く時には，単語の間を空けるなど，英語の書き方のきまりを守って書いています。	45%
15	英語を書く時には，単語をならべる順番を考えながら書いています。	60%

今年度５月に実施したアンケート結果から，既習事項の活用や自分の思いを伝えること，読むことや書くことに対しての肯定的回答が低く，読むこと・書くことについて苦手意識や不安感をもっ

ていると予想される。

○　指導にあたっては，特に次の３点について工夫していきたい。

①場面設定の工夫

２学期から新しく来られた ALT に，他己紹介で自分たちのことを知ってもらうという場面設定をし，児童が意欲的に取り組み，話したり書いたりする必然性をもつことができるようにした。

②書くことややり取りに必然性をもたせること

新しい ALT に，自分たちのことを早く覚えてもらうために，他己紹介文を冊子にまとめて個人写真と一緒に渡すという設定をした。ALT の手元に残るものを作成することで，書く必要性を持たせる。また，自分が責任を持って友達を紹介するという状況を作り，他己紹介に必要な情報を収集するためのやり取りと，冊子作りをするための書く活動の両方がつながりのあるようにした。

③ALT の活用場面をできるだけ多く設定すること

ALT の活用場面としては，語や文（表現）のお手本や繰り返し練習が中心である。しかし，外国の文化や見方に触れるよい機会になるように，可能な限り，ALT 本人のこと，家族のこと，イングランドのことなど，ALT その人ならではの経験や思いが伝えられる場面を設定し，異文化交流にもつなげられるようにしたい。さらに，ネイティヴの発音や文の読み方を聞く機会を増やすために，「ALT による絵本の読み聞かせ」を授業に多く取り入れる。読み聞かせを２～３時間に１回程度実施することとし，絵本の選定は，ALT に任せ，特に単元の内容に直接つながらない内容でもよいこととしている。

5　単元目標

【コ】他者に配慮しながら，自分や第三者についてできることやできないことを紹介し合おうとする。
【慣】自分や第三者について，できることやできないことを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しむ。
【気】文字には，音があることに気付く。

6　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
①自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとしている。 ②他者に配慮しながら，自分や第三者についてできることやできないことなどを発表している。	①第三者について表す表現に慣れ親しむとともに，できることやできないことについて聞いたり言ったりしている。 ②例を参考に，第三者の表現やできることやできないことの表現を書き写している。	①アルファベットの文字の読み方には，名称の他に音があることに気付いている。

7　単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	新しい ALT の先生に，自分たちのことを知ってもらったり早く覚えてもらうために，他己紹介をしたり他己紹介カードを冊子にまとめ ALT に渡したりする。

目指す発話例	【友達へのインタビュー】 S1: Do you like sports? S2: Yes, I do. S1: Good! Can you play soccer? S2: Yes, I can. S1: Oh, great! Can you ~? S2: No, I can't. 【友達のこと（他己紹介クイズ）】 She(He) can ~. She(He) can't ~. Who is ［she / he］? She(He) is (Arimori Eiichi).

8　言語材料（下線は新出表現・語彙）

主な表現	主な語彙
Can you (sing well)? Yes, I can. / No, I can't. ［I / You / She / He］［can / can't］(sing well). Who is ［she / he］? Do you like (sports)? Yes, I do. / No, I don't. I like / don't like ~. What (sports) do you like? I like soccer.	動作（play ［the recorder / the piano］, ride a ［bicycle / unicycle］, swim, skate, ski, cook, dance, fun fast, jump high, sing well）など ※その他児童が表現したい動作 できる・できない（can, can't） 第三者（she, he） その他（スポーツ，日課，Mr. Ms.）

9　単元計画

時	目標（◆），主な活動（【】＝誌面化されている活動）	〔評価規準〕・評価方法
1	◆できることやできないことの表現方法を知る。 いろいろな動作の表現を知るとともに，自分ができることを伝えよう。 ★Small Talk（HRT や ALT のできること） ※Let's Play2 の表現も取り入れながら，十分に児童にやり取りを聞かせる。 【Let's Play2】いろいろな動作の表現を知る。 【Let's Listen1】自分についてできることやできないことの表現を知る。 T: Can you play ~? S:Yes, I can./ No, I can't. ◯ALT's Story Time ※ALT による絵本の読み聞かせ	〔慣①〕 行動観察・発言・振り返りカード
2	◆できるかどうか尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 いろいろな動作の表現を使って，できるかどうかたずねたり答えたりしよう。 【Let's Chant: Can you sing well?】 【Let's Listen2】よりよくできる表現について知る。 【Activity1】ペアの友達に，できるできないを予想しインタビューをする。 ◯友達にできるかどうかたずねよう。 A: Can you (play the piano)? B: Yes, I can. / No, I can't. A:I see. Great. Good. Wonderful. Cool.	〔慣①〕 行動観察・発言・振り返りカード
3	◆自分ができることを友達と伝え合う。 ★Small Talk（好きなこと） 【Jingle: Animal Jingle】	〔コ①，気①〕 行動観察・発言・振り返りカード

	◯自分にできることやできないことをグループ内で伝え合う。 A: Do you like sports? B: Yes, I do./ No, I don't. (A: What (sports) do you like? B: I like soccer.) A: Can you (play soccer)? B: Yes, I can. / No, I can't. A: I see. Great. Good. Wonderful. Cool. A: I can ride a unicycle. How about you? B: Me, too. ◯ALT's Story Time ※ALT による絵本の読み聞かせ	
4	◆第三者を表す表現を知る。 自分や相手以外の人の表現の仕方を知る。 【Jingle: Animal Jingle】 【Let's Watch and Think2（前半)】登場人物のできることやできないことを聞き取る。 ◯スポーツ選手やキャラクター，芸術家などを例に，She(He)の表現を知る。 ※大人の男女だけでなく，子どもやアニメキャラクターなども取り上げる。 He can skate well. She can sing well. He can draw pictures. She can play table tennis.	〔慣①，気①〕 行動観察・発言・振り返りカード
5	◆第三者についてできることやできないこと伝える表現を知る。 家族や先生たちのできることを紹介しよう。 【Jingle: Animal Jingle】 ◯She(He)を使って家族や先生のできることできないことを言い，She(He)の表現になれる。 She can play the piano. He can throw the ball. She can cook. She can make cookies. ◯ALT's Story Time ※ALT による絵本の読み聞かせ	〔慣①，気①〕 行動観察・発言・振り返りカード
6	◆相手のできることやできないことについて聞く。 インタビューの準備をしよう。 ★Small Talk（できること） 【Activity3】自分が紹介する友達のできることを予想しよう。 ●インタビューシートに「She か He」を書く。動作は，ピクチャーカードを貼る。 ◯インタビュー時にどんな既習表現が使えそうか, 相手の答えに対してどんな反応をしたら良いか考える。 挨拶：Hello. Thank you, see you. 趣味を聞く質問： Do you like (sports, music, food, picture)? What (sports) do you like? 反応：good, great, I see, cool, Oh	〔慣②〕 行動観察・発言・ワークシート・振り返りカード
7 本 時	◆相手にできることを聞いたり自分のできることやできないことを伝えたりする。 ◆例を参考に，できることやできないことを書き写す。 ★Small Talk(できること)	〔コ①，慣②〕 行動観察・発言・ワークシート・振り返りカード

	紹介する友達のできることできないことをインタビューして，発表用シートに書こう。 〇友達にインタビューをする。 A: Hello! B: Hello! A: Do you like sports? B: Yes, I do. A: Good. Can you run fast? B: Yes, I can't. A: I see. Can you play soccer? B: Yes, I can. S1: Oh, great! Thank you. See you. ●インタビューをもとに，他己紹介カードに友達のできることを書く。 〇ALT's Story Time ※ALT による絵本の読み聞かせ	
8	◆新しい ALT の先生に，第三者についてできることやできないことなどを発表する。 他己紹介で ALT の先生に自分たちのことを知ってもらおう。 She can (sing well). She can (play the recorder). She can't run fast. Who is she? Who is she? She is ~. Yes, this is Kayo. She can (sing well). She can (play the recorder). She can't run fast. 【STORY TIME】	〔コ②〕 行動観察・発言・振り返りカード

10　本時の計画

（1）目標　・相手にできることを聞いたり自分のできることやできないことを伝えたりする。
・例を参考に，できることやできないことを書き写す。

（2）評価規準

【コ①】相手にできることを聞いたり自分のできることやできないことなどを紹介し合ったりしようとしている。

【慣②】例を参考に，第三者の表現やできることやできないことの表現を書き写している。

（3）準備物　絵カード，ワークシート，タブレット，大型 TV，振り返りカード

（4）展開

児童の活動	指導者の活動（〇）・留意点（・）	評価規準（方法）
1　挨拶をする。 T2: Hello! Good morning. S: Hello! Good morning. T2: How are you? S: I'm good. T2: What day is it today? S: It's Friday. T2: What's the date today? S: It's October 18th.	〇ALT　Greeting(曜日，日付，天気) 《ALT の活用》	
2　復習をする。 ・Small Talk	〇まず，T1 と ALT でデモンストレーションを行い，その後，ALT が児童とやり取	

	りを行う。 ・これまでの動作の既習表現や未既習の表現も織り交ぜながらやり取りをする。 《ALT の活用》	

(T1-T2)

T1: Hello! Sophie. Do you know her? T2:Yes, I do. She is “Smile Cinderella”.
T1: Golf is from The UK, right? T2:Yes, Golf is from The UK.
T1: Do you like golf? T2: I like Golf?
T1: Can you play golf? T2: No, I can’t.
T1: I see. T2: Ok, Let’s ask students.

(T2-Students)

T2: Can you play golf? S1: No, I can’t.
T2: What sports do you like? S1: I like soccor.
T2: You can play soccer. Great.

3　本時のめあてを確認する。	○T１　単元計画表を見ながら，これまでの学習と本時の学習内容を確認する。	

紹介する友達のできることできないことをインタビューして，他己紹介カードに書き写そう。

4　友達にインタビューをする。 ①デモンストレーションを見て，前時に考えたインタビュー時に気をつけることを確認する。	○T１・ALT でデモンストレーションをする。《ALT の活用》 ・児童にとって，ALT の新たな発見になるような内容を取り上げる。 ・インタビュー時に気をつけることを意識させて，デモンストレーションを見させる。	

T1: Hello. T2: Hello. （あいさつをする）
T1: Do you like sports? T2: Yes, I do. （趣味を聞く）
(T1:What sports do you like?) (T2: I like polo.)
T1: What’s polo? T2: Polo is from TheUK.
T1: Wow, nice. （反応）
T1: Can you play polo? B: No, I can’t. （できることを聞く）
T1: I see. Can you ~ ※質問を繰り返す
T1: Thank you. See you. B: See you. （あいさつをする）

②インタビューをする。 ア）出席番号の奇数番号児童が，偶数番	○インタビューの目的を確認し，その友達ならではのできることを可能な限り見	【コ①】 行動観察・発

号の児童にインタビューをする。 イ）出席番号の偶数番号の児童が，奇数番号の児童にインタビューをする。 S1: Hello. S2: Hello. S1: Do you like music? S2: Yes, I do. (S1:What ~ do you like?) (S2: I like ~.) S1: I see. S1: Can you play the trampet? S2: Yes, I can. S1: Good. Can you ~ ※質問を繰り返す S1: Thank you. See you. S2: See you.	つけさせるようにする。 ○ALT は，よかった点をフィードバックしたりわからない表現がなかったか尋ねたりする。《ALT の活用》 ・T１は，日本語で補足する。 ○やり取りをして分かったことや感じたことを発表させる。	言・振り返りカード
５　インタビューをして分かったことを発表用シートに書く。 ①例が書かれたシートの単語をなぞる。 ②例を参考に，他己紹介カードに書き写す。	○T１が書く見本を見せる。 ・ALT は，T１書いたものを見て評価し，４線の高さに合わせたり大文字と小文字を使い分けたりすることを伝える。《ALT の活用》 ・T１は，日本語で補足しながら，児童が自分達で書く際の決まり事を確認できるようにする。 ①大文字か小文字か　②文字の高さ ③にている形	【慣②】 行動観察・ワークシート・振り返りカード
６　本時の振り返りをし，挨拶をする。 ①振り返り （例）・できることをたずねるには，Can you ～?と聞けば良いことがわかった。慣れてきたので，いろいろなできることを聞いてみたい。 ・英語を書くときには，文字の高さなどに気をつけて書くと分かりやすいことがわかった。 ・友達が言い方を教えてくれて，前よりも上手に言えるようになった。 ・友達のできることが分かり，新しい発見があってうれしかったです。 ②挨拶	○ALT，T１から気付きを児童に伝える。《ALT の活用》	

11　板書計画

She can run fast, He can jump high.

㋮　紹介する友達のできることできないことをインタビューして，他己紹介カードに書き写そう。

単元計画	She, He の例(写真)	動きを表すカード	他己紹介カード例	◎インタビューの方法やその時に必要な表現